# 令和７年度　市民協働推進会議・
# 公益活動事業補助金公開プレゼンテーション　会議録

| | |
|---|---|
| 日　　時 | 令和７年６月２日（月）18:00～21:00 |
| 会　　場 | 北広島市役所３階　会議室 3C・D |
| 出 席 委 員 | 橘委員、山口委員、池端委員、髙嶋委員、竹澤委員、原口委員、米一委員 |
| 欠 席 委 員 | |
| 傍　聴　者 | ０名 |
| 市 出 席 者 | 【市民環境部】阿部部長<br>【市民生活課】高橋課長、立野主査、中島主任、船木主事 |

**１．開会**

**２．審査についての事前説明**

事務局から各種制度の概要及び審査方法等を委員に説明。

**３．公益活動事業補助金　公開プレゼンテーション**

**■「大曲緑新町内会創立 30 周年記念誌の発行」**

大曲緑新町内会から資料に沿って報告

～事前質問への回答～

○町内会活動において、役員の担い手不足など、課題は。

●役員の担い手不足については、輪番制任期１年としているため、今のところは確保できている。会長副会長は任期２年でなり手がおらず、副会長が欠員している。会長の推薦も出てこず、後任がいない状態。

○その課題を解決し、活動の活性化を進める一手段として、今回の記念誌発行を役立ててはどうかと思うが、何かお考えは。

●活性化を進める手段としては、町内会の歴史を保存し、後世に引き継ぐことが主の目的だが、歴史保存ということの重要性について再認識し、さらに 40 年 50 年と続けていきたい。また、開催しなくなったイベント（餅つきなど）等を新しい入居者は知らないので、記念誌を見て想起してもらい、イベント再開、会員同士の繋がり等に期待したい。

○全会員に配布するにあたり、実際に会員の方が手に取って読んだり、活用したりしていただくことが大切だと思うが、工夫されている点は。

●まだ決定ではないが、配布にあわせて町内会の歴史に関するクイズを出題し、解答用紙を提出してもらうと記念品がもらえるようにする。解答には記念誌を見てもらう必要があるのでそれをきっかけに見てもらえるよう模索している。目を通していただき歴史を振り返ることで、町内会活動に興味を持ってもらうことで活性化にも繋がるものと考える。

～質疑応答～

○A 委員

全戸３１２戸で印刷４００部だと８８部余る。関係各所に配布したとしても結構な数の余りが出るが、余ったものの用途は、どこに配るのか。

●大曲緑新町内会

町内会から転出された方にも当時の思い出投稿などをお願いし、そういう方への配布を予定している。また記念誌作成において、近隣町内会の 30 周年誌、50 周年誌を先行して発行している町内会、それ以外にも近隣にお住まいの方から当時の町内会の状況の情報や写真をお借りするので、そういったところへ配布する。

残った分は年間 4～5 戸程度入れ替わるので、新たに転入された方に配布する。

○B 委員

一部６００円でページ数は。ネット印刷を活用するのか。

●大曲緑新町内会

これから割付・編集するが今のところ６０～７０ページ程度でフルカラー印刷。町内会で原稿を作ってネット印刷を活用して発注製本する。

○B 委員

事業の実施方法は役員で考えたのか。

●大曲緑新町内会

記念誌以外にも祝賀会等３０周年記念事業を考えている。実行委員会を立ち上げて５名体制で準備を進め、会員の意見を吸い上げながら進める。

○C 委員

記念誌を作るのは大変だと思うが、構成員のメンバーは。

●大曲緑新町内会

基本的には実行委員の５人で作成。作業を分担して、それぞれ写真等をはめ込んでいく。実際の原稿の作成は２名。

**≪令和７年度申請　里見町５・６丁目自治会≫　発表**

里見町５・６丁目自治会から資料に沿って報告

～事前質問への回答～

○役員の担い手不足や住民の自治会活動への関心低下などの課題について、今回の記念式典開催や記念誌発行の事業を具体的にどのように役立てていくのか。

●人が集まることが大事。目玉は記念誌と夏祭り。普段、公園の草刈り等の小さな行事を役員以外にも声かけをし、参加してもらうようにしている。役員の担い手不足に関しては、役員の任期は１年交替で、役員は班長の互選で選出しているが、それだとなかなか難しく、去年立候補制にした。４年前に１年交代では知識継承が難しいので顧問制度を復活させ、顧問は 3 年間、知識のある人を置くようにしている。経験のない方でも安心して役員を引き受けられるような環境を作っている。

○記念誌を全会員に配布するに当たり、実際に会員が手に取って読んだり、活用したりすることが大切だと思うが、工夫されている点は。

●高齢者が多く、文字だけだと手に取ってもらえないので、６割程度を写真等にする予定。記

念誌本誌の中で、環境美化についてどんな仕組みでやっているのか、ごみステーションの整備はいつ頃からどのような維持管理を行っているのかなどの経歴をコラムにし、写真を掲載するというような形で、写真中心に表なども活用し読みやすい工夫をする。記念誌の後半部分に直近 10 年間の自治会長等まとめる。

～質疑応答～

○D 委員

多世代交流祭りの復活は残念ながら補助対象外となっているが、補助対象の記念誌と組み合わせて、多世代交流祭りにもっと参加してもらえるような工夫をしてもらえればと思う。例えば記念誌の裏にビンゴの紙をつけて、記念誌を持ってきてもらえれば一緒にビンゴ出来るとか、何か地域の活性化のために新しい工夫を。

●里見町５・６丁目自治会

記念誌の中に入れることは考えていない。祭りのパンフレット・ビラ等頻繁に出すとか。6 年前にごみステーションにポスターを貼ったように周知等は徹底していく。夏祭り等の振り返りの内容は記念誌に盛り込む予定。

○B 委員

カラーで印刷か。

●里見町５・６丁目自治会

全体の６割が写真付きのページになるためカラー印刷の予定。

○B 委員

実行委員は何名体制か。年齢構成は

●里見町５・６丁目自治会

３名が編集委員、１名は会員の計４名で作成する予定。男性２名と、かつての婦人部の活動がよくわからないので女性２名に入ってもらって、実際執筆するのは男性２名。

８０代が３名、７０代が１名。若い人の参画はなかなか難しい。

○A 委員

出店売り上げとあるが、どんな人が出店するのか。

●里見町５・６丁目自治会

外部の方の出店はなく、ボランティアの方等を募って出店等を実施する予定。自治会に所属する市民主体で実施する。

**≪令和７年度申請　大曲南ヶ丘町内会≫　発表**

大曲南ヶ丘町内会より資料に沿って報告

～事前質問への回答～

○説明会講師について、単価 55,000 円の根拠は。また、その業者は町内会のデジタル化について、これまでどのような実績があるのか。

●令和６年２月の市民参加市民協働セミナーの講師であった（株）KITABA という会社を知った。そのセミナーに町内会役員が参加しており、様々な町内会でデジタル化や問題解決の支

援していることを知り、今回の見積もりをお願いした。金額については、実際にきて支援していただく費用に加えて、説明会に使用する Wi-Fi や町内会会員への周知のチラシの作成支援、電話・メールでの相談等も受けてもらう。（株）KITABA のホームページを拝見すると町内会活動の活性化支援を請け負っているよう。札幌市でも町内会のアドバイザー派遣の運営企画等を実施しているようで、その中に町内会活動問題を解決するデジタル化支援も含まれていると聞いている。

○デジタル化に成功している他の町内会の事例は。

●当町内会のほうでは電子回覧板に成功しているという例は抑えていない。市の研修会やインターネットで情報収集に取り組んでいるがそれには限界があるので、今回の講師派遣という形で支援を受けようとしている。

○講師謝礼の詳細について知りたい。（支援３回とあるが、1 回の支援は 1 日なのか、複数日に渡って行うのかなど。1 回あたりの金額が、2 名 110,000 円と高額なので。）

●実際にきて支援説明していただく費用や、説明会の Wi-Fi、町内会会員への周知のチラシ作成支援、電話やメール相談等も含まれている。説明が重複するが、第一回目の支援は 7 月ころを予定している。内容は町内会活動における課題の共有と課題解決に向けたアドバイス、参集範囲は町内会役員で 7 名程度の予定。第二回目の支援は 8 月ころで、LINE オープンチャットの活用方法、操作方法の説明会・研修を行い、参集範囲を役員と班長さんとして全部で 60 名程度。第三回目の支援は 12 月ころの予定。内容は、電子回覧板導入等の振り返り、改善点のアドバイスをしていただく。参集範囲は町内会会員だが実施状況を踏まえて判断する。

○講習時間は、どのくらいか。

●第一回目から第三回目までは内容が違うので一概には言えないが、おおむね２時間程度と考えている。

○何名くらい、どのような方々にご案内して講習をするのか。

●第 1 回目は町内会役員 7 名程度を対象とし、町内会活動における課題の共有と課題解決に向けたアドバイス。第 2 回目は役員と班長 60 名程度を対象予定とし、LINE オープンチャットの活用方法、操作方法の説明会・研修を行う。第 3 回目は町内会会員を対象とするが、実施状況を踏まえて判断し、電子回覧板導入等の振り返り、改善点のアドバイスをしていただく予定。

～質疑応答～

○C 委員

研修が終わった後に分からないこと等出てくると思うが、研修後（株）KITABA からのアフターケアは。

●大曲南ヶ丘町内会

3 回だけでは分からないことが出てくると思われるため、支援してもらう予定。

○B 委員

チラシの印刷代 2,000 枚で 4 万円は高額では。同じ内容なら一括だと安くなるのでは。

●大曲南ヶ丘町内会

カラーコピーにしようと思っており金額が高くなっている。1、2 回目の習熟度合いに応じて発行の方法を変える予定のため、1,000 枚を 2 回に分けて印刷の予定。

〇E 委員

他の町内会の事例、（株）KITABA から聞いてないか。デジタル化にあたって良い点もあるが当然課題もいろいろ出てくると思うが、その辺も内部で検討した結果、今回デジタル化をやるとなったのか。

●大曲南ヶ丘町内会

（株）KITABA からは聞いていないが、昨年 2 月 4 日の市民協働セミナーの中で、他の町内会と話す機会があった際に、当町内会に比べて人数的に少ないが市内の町内会でデジタル化をおこなっている事例を聞いた。当町内会とは規模感が違うため、内容を聞いてもセミナーを一度受けただけでは自分たちで町内会員に説明するには厳しいものがあると感じたため、今回の形に至った。

〇F 委員

他にも業者があると思うが、（株）KITABA に決めた理由は。

●大曲南ヶ丘町内会

市のセミナーで知り、決めた。

**4. 協議事項**　※ここからは非公開

**令和７年度　公益活動事業補助金　審査**

**5. その他**

事務局から市長への答申の流れを委員に説明。

**6. 閉会**